

# 安全運転

## ほっとNEWS



平成21年3月号

今月のデータ

# 14.08人

平成20年中の1日の平均死者数。1時間42分に1人が亡くなっていることとなります。平成19年は1日平均15.74人でした。



警察庁調べ(平成20年)

# 生活道路に潜む危険

**まず安全確認、そして危険予測を忘れずに!**

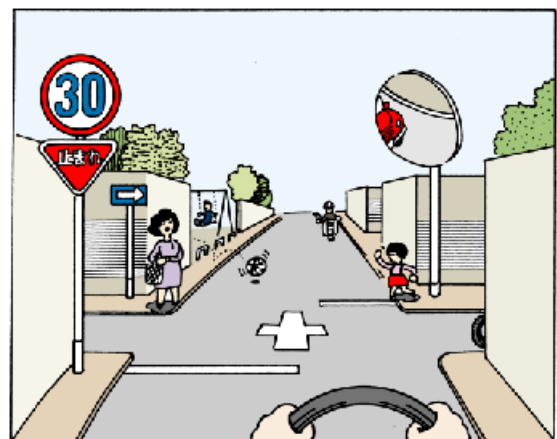
生活道路は、主として地域住民の日常生活で交通に利用される道路で、裏道や路地などと呼ばれることもあります。

生活道路の多くは道幅が狭く、一方通行路となっているケースもあります。また、信号がない見通しの悪い交差点や車道と歩道の明確な区別がない場所が多く、歩行者や自転車との事故が多いことが特徴です。

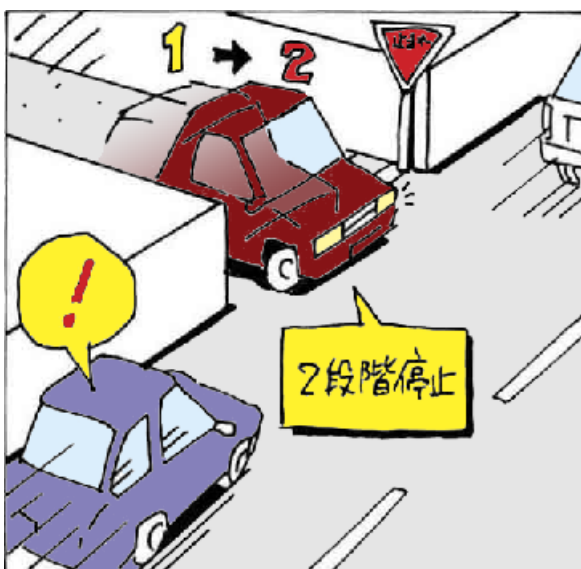
こうした生活道路を利用する歩行者や自転車は、自分たちが優先であるという意識が強く、車のほうが避けてくれると思いがちです。一方ドライバーは、車の交通量が少ないことから、一時停止を怠ったり、漫然と運転するなど、危険な運転をすることがあります。

こうした歩行者、自転車とドライバーの意識のズレが事故に結びつくケースもあります。

生活道路での事故防止には、何よりもスピードを落として安全確認を徹底し、死角に潜む危険を予測して慎重な運転を心がけることが大切です。



## 交差点では2段階停止を



見通しが悪い交差点では、停止線で止まっても、左右を見通せない場合があります。こうした見通しの悪い交差点で、十分な安全確認を行わず、交差点を通過しようとする、出会い頭に車や自転車と衝突するおそれがあります。

見通しが悪い交差点では、まず停止線の手前で一時停止し、安全確認を行います。そして徐行しながら、左右が見通せる位置まで進んで再度停止し、安全を確認してから交差点を通過する2段階停止を行います。

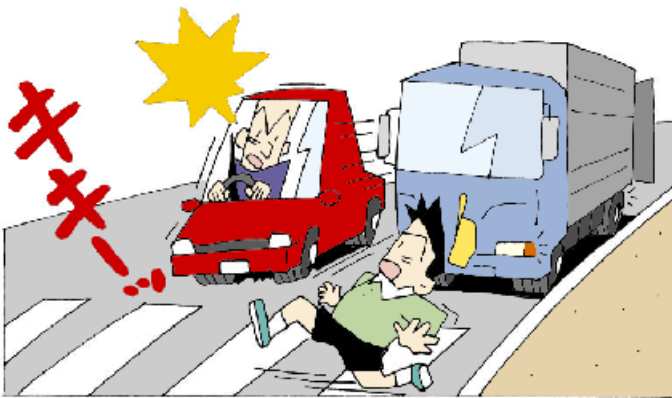
こうすることで、交差する道路を走る車や歩行者・自転車などにも、自車を確認してもらうことができ、より一層事故の危険も減少します。

## 駐車車両の陰に危険あり

生活道路には駐車車両が多いため、歩道・車道の区別がない生活道路では、道路をいっそう狭くして非常に大きな死角をつくっています。

たとえば、駐車中のトラックの陰から作業員が出てきたり、住宅の前の駐車車両の陰から子どもが飛び出してくる危険もあります。

そうしたときに、漫然と運転していれば事故は避けられません。駐車車両のある生活道路を走行する場合は、駐車車両の陰から人が飛び出してくる危険を予測し、いつでも止まることができるスピードに落とし、走りましょう。



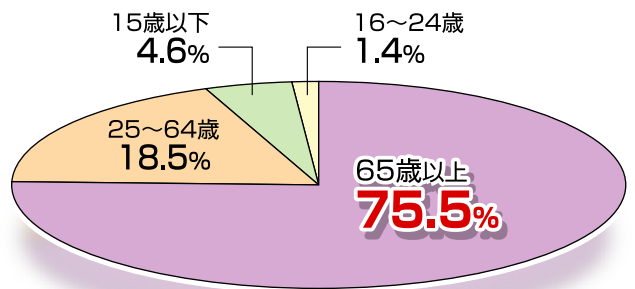
## 高齢者に注意しましょう

歩行者・自転車利用者の死者の5割以上は、自宅から500m以下の生活圏内で交通事故に遭っており、そのうちの約75%が65歳以上の高齢者となっています（警察庁資料より）。

事故の原因としては、

- 車のスピードや距離を的確に判断できない
- 信号を無視するなど交通ルールを守らない
- 車が止まってくれるだろうという依存心があるなどが考えられます。

生活道路で高齢者を見かけたら、スピードを落とし、その動きを十分に確認して運転しましょう。



自宅からの距離別500m以下の年齢別死者数の割合（平成16年）

## 一方通行、ここをチェック

一方通行路では、自転車は規制の対象から除外されており双方向から走ってきます。

一方、ドライバーは、一方通行を走行する自動車に気をとられがちで、反対方向から進んでくる自転車などに気づかず一方通行路に進入しようとして衝突することがあります。一方通行路に進入するときは、左右の安全確認を徹底しましょう。



### 東京海上日動リスクコンサルティング(株)の自動車事故削減プログラム

東京海上日動リスクコンサルティングでは、カメラ付きドライブレコーダを使用した自動車事故削減プログラム（法人向け）をはじめ各種事故削減メニューを取り揃え、ご提供しております。詳しくは、03-5288-6586（担当：西村・阿部）までお問い合わせください。HP（<http://www.tokiorisk.co.jp/>）

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

**保険システム株式会社**  
INSURANCE SYSTEM CO.LTD

〒950-0087  
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F  
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921  
E-MAIL [yasuragi@hokensystem.co.jp](mailto:yasuragi@hokensystem.co.jp)  
URL <http://www.hokensystem.co.jp>

**東京海上日動火災保険株式会社**

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課